

2) 循環器内科

1. 診療体制と患者構成

1) 診療科スタッフ（講師以上）

吉野 秀朗（教授、診療科長）

佐藤 徹（教授）

副島 京子（教授）

坂田 好美（准教授）

佐藤 俊明（准教授）

松下 健一（講師）

金剛寺 謙（講師）

谷合 誠一（講師）

上田 明子（講師）

高昌 秀安（講師）

2) 常勤医師、非常勤医師

常勤医師数：36名、

非常勤医師：13名

3) 指導医、専門医・認定医

日本内科学会指導医：4名

日本内科学会専門医：7名

日本内科学会認定医：26名

日本循環器学会専門医：17名

日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医：1名

日本心血管インターベンション治療学会専門医：1名

日本心血管インターベンション治療学会認定医：5名

4) 外来診療の実績

患者総数 34,274名

【特殊外来】

不整脈センター 月～木曜日の午前中

ペースメーカー・ICD・CRT外来 水曜日の午後

肺高血圧症専門外来 月曜・木曜

5) 入院診療の実績

年間入院患者数：1699件（うちCCU入院患者数234件）

循環器系主要疾患入院患者数（のべ）

急性冠症候群 141件

急性心不全 108件

致死性不整脈 111件

肺高血圧症 407件

大動脈解離・大動脈瘤 40件

肺塞栓症 45件

死亡患者数 66件

循環器剖検数 4件

2. 先進的医療への取り組み

経皮的肺動脈形成術：116件

- ・薬剤溶出ステントを冠動脈疾患の治療に取り入れており、冠動脈インターベンションによる再狭窄の防止に取り組んでいる。
- ・心室性不整脈による心臓突然死を予防するため、非侵襲的心電図指標を駆使してリスクの層別化を行い、埋込み型除細動器（ICD）の適応を決定している。
- ・（徐脈性不整脈に対する）ペースメーカー手術と（重症慢性心不全に対する）心臓再同期療法において、心機能を温存させる手技（生理的ペーシング）を全国に先駆けて実施している。
- ・肺高血圧症に対する治療を積極的に行っており、肺動脈インターベンション（カテーテルによる拡張術）も取り入れている。

3. 低侵襲医療の施行項目と施行件数

トレッドミル・エルゴメーター負荷試験	176件
マスター負荷試験	663件
加算平均心電図	103件
ホルター心電図	2409件
経胸壁心エコー	9100件
経食道心エコー	97件
運動負荷心エコー	165件
ドブタミン負荷心エコー	110件
心筋コントラスト心エコー	9件
安静時心筋血流シンチ	5件
運動負荷心筋血流シンチ	38件
薬物負荷心筋血流シンチ	689件
肺血流シンチ	161件
冠動脈CT	709件
大血管CT	765件
心臓MRI	249件
血管MRI	258件
ABI検査	1171件
CAVI検査	1171件

4. 地域への貢献

地域の医師会で定期、不定期を含めて多数の勉強会等を開催している。

定期的なものには、府中医師会での循環器日常診療のQ&A（年3回）、循環器勉強会（年1回）、三鷹医師会での心電図勉強会（年6回）などがある。不定期なものとしては、教授、准教授が近隣の医師会での勉強会で循環器領域の診断と治療のポイントなどについての講演を行っている。

循環器の各分野において、多摩地区にある病院との意見交流である研究会に、教授あるいは准教授が世話人として参加している。主なものは、多摩地区虚血性心疾患研究会、多摩不整脈研究会、西東京心不全フォーラム、多摩アミオダロン研究会などがある。